

12月 (定例)・臨時 教育委員会会議録

日時	平成28年12月21日(水) 午前10時00分から
場所	山梨市役所 3階 応接室
出席委員名	市川今朝則・廣瀬孝子・幡野勝彦・林正文・三森智文
出席事務局員名	小川鉄男、中村貴仁、高原歳徳、倉田憲一
委員会書記	小林徹

議題及び議事の概要

○議事

(1) 冬季休業中の生徒指導について

教育長) 県教育委員会の資料もお手元にあるが、12月6日校長会において冬季休業中の生徒指導の徹底をお願いした。1年の締めくくりと新年に向けての決意を固める重要な時期であると同時に、家族とのふれあいや地域行事への参加等、子どもにとっても重要な時期であるので冬季休業を有効に活用してほしい。

(2) 教職員の綱紀の保持について

教育長) 12月6日の校長会を通して、徹底をお願いした。特に年末年始は飲酒の機会も増えることから飲酒運転等注意するようお願いした。

(3) 12月議会の報告について

教育長) 教育委員会関係の質問、答弁の骨子を資料にした。

委員) 給食センターの余剰能力とは

学校教育課長) 平成30年9月の人数を基に設備能力を設計した。今後も子どもの減少は続くと想定される。老人福祉施設にお弁当の提供をする等が考えられないかという内容。

委員) 図書館司書について他市で雇用問題があるようだが当市の状況は

生涯学習課長) 図書館司書については正規職員3人、臨時職員(司書免許保持)4人。

来年度から正規職員1人増える予定。

学校教育課長) 学校司書は市内11校あるなかで正規職員3人。総務省の通達による人数を守っている。

委員) 笛川中学校の生徒数減少による影響は

教育長) 非常勤教師の増加、また部活動への影響が考えられる。中学統合は今のところ

考えず、現状で支障がある場合、例えば運動部で、1校ではチームが編成できない場合は複数校の合併チームを認めていただく等の対応をとっていく。また、笛川小学校と近いことから、小・中連携事業の導入により加配等が受けられればよいと思う。

委員) 3学級となると人員配置は難しいであろうと思う。

教育長) 非常勤教師が増えると、授業以外の事務等の仕事を正規の先生が負担しなければならなくなり大変になると思われる。

委員) 通級指導教室について、13人に1人の割合で教員配置されるようであるが該当しそうな学校はあるか。

教育長) 山梨市においては「ことばの教室」となる。

委員) 教員の配置について、無免許の先生については不安がある。

(4) 平成29年度主要事業について

学校教育課長) 学校教育課 平成29年度主要事業について、資料により説明。

委員) 土曜塾について午前・午後にかけて行うのか。

教育長) 部活動に参加する子供のことを考慮し、午前・午後どちらでも参加できるように考えている。自学自習を基本とし、質問等があればそれに答えるようにしたい。

委員) 場所については。

教育長) 市民会館を考えている。

教育長) 経済的な理由で塾へ行けない子どもに対する支援と同時に、もう一つは子どもの学力向上に資する機会を与えたいとの理由で実施したい。

委員) ICT教育の実践研究校は市の指定か。

教育長) 市の指定である。指定の内容については、次回の教育委員会で提案したい。笛川小学校を皮切りに、すべての小中学校にICT教育の推進を図りたい。

委員) 特別支援教育支援員配置事業について、学校訪問の際、現場からの要望が多かったのが良かったと思う。今後も現場の要望を積極的に取り入れて事業展開ができればよいと思う。

委員) JTEに資格は必要なのか。

学校教育課長) 民間でそのような資格があるようだが、国家資格ではない。もちろん、英語に堪能であることは必須。

生涯学習課長) 生涯学習課 平成29年度主要事業について、資料により説明。

委員) 小原スポーツ広場メンテナンスは土の入替か。

生涯学習課長) 土の入替ではなく、柔らかい場所や、雨水が流れる場所に部分的に砂を入れる。

委員) 八幡公民館の雨漏りについて、平成 25 年頃改修を行ったと思うが。

生涯学習課長) 改修後、あまり時間が経っていないが、既存の建物に対する雨漏りについては、原因の特定が非常に困難であることを踏まえ、ご理解をいただきたい。

(5) 平成 29 年度当初予算市長査定について

課長) 法律に基づき、市長は予算の編成について教育委員会の意見を聴かなければならないとなっているので例年通り行いたい。1 月 19 日 (木) か 20 日 (金) どちらか 1 日、13 時からでお願いしたい。

委員) 20 日 (金) 13 時から。12 時 45 分頃、教育委員会室に一度集合する。

(6) 平成 29 年度小学校英語科教育について

教育長) 来年度小学校 5・6 年生の英語授業が増えるため、JTE を増やすよう予算要求している。しかしながら、すべての授業に ALT と JTE と担任を配置するのは将来的に難しくなっていくため、担任の先生が ALT や JTE に頼らず授業ができるような指導力を身につけることが必要となってくる。また、授業時間の確保については、60 分授業を年間 12 回、さらにクラブ活動の時間を授業に年 11 回活用することで 15 時間を確保したい。

委員) ALT は、すべて英語の授業に極力配置することが理想と思う。

教育長) 今後はどこの市町村においても英語の授業が増えると配置は困難になると思われる。また、授業内容によっては、ALT を必要としない授業もある。

委員) 小学生に 60 分授業は実際行ってみないと分からない面もあると思うが。

教育長) 文科省の考え方は、今までの授業時間数の総枠は変えずに英語を増やすとこのことなので、今後どこの学校でもこのような形になるのではないかと。15 分の英語授業については、学習効果の点でいかがかと思う。

(7) 社会教育委員との意見交換会について

生涯学習課長) 日程について、2 月 6 日・7 日・9 日のうち、いずれかの日で行いたい。諮問に対する答申、コミュニティスクールの運営状況等の意見交換を予定。今回は日程を決定したい。

委員) 2 月 7 日 (火) に決定。

(8) 生活・いじめアンケート結果について

事務局) 資料に基づき説明。1 回目・2 回目の比較について説明。

教育長) 例えば、数字的には 1% 未満ではあるが、仲の良い友達が「いない」と回答している子どもの支援をしていくことが大切。

委員) いじめられたことがあると回答した生徒への対応は。

事務局) 先生側で把握しているので、教育相談週間等担任、生徒指導の先生が対応。

委員) 小学生が LINE を使用しているのか。

事務局) スマホを持っている児童も多いと思われる。使用についてのルールについては学校でも指導している。

委員) アンケートでは、正直に(具体的に)書けない子どももいるのでは。

教育長) アンケート結果だけでは(具体的に当事者が分からないと)対応が難しいと思う。

委員) 実際いじめを受けていても、アンケートにかけない子どもがいる事例もあるようなので、先生方には子供の様子に目を光らせていてもらいたい。

教育長) 学校内であれば、先生が把握することもできると思うが、メールや SNS の悪口等は親や先生からの目が届かないので、今後の大きな課題である。

生涯学習課長) 小学校低学年の設問で、言葉で回答するものは、数値化できる設問にすれば高学年との比較や全体に対する割合が分かってよいのでは。

事務局) 検討事項とします。

次回 1月17日(火) 10時から

議決事項

平成29年度当初予算市長査定日程 1月20日(金) 13時

社会教育委員との意見交換会日程 2月7日(火) 13時30分

その他、会議において必要と認めた事項